荒川の概要

荒川の概要

荒川下流河川事務所
Arakawa-Karyu River Office

流域面積 約2940km^2

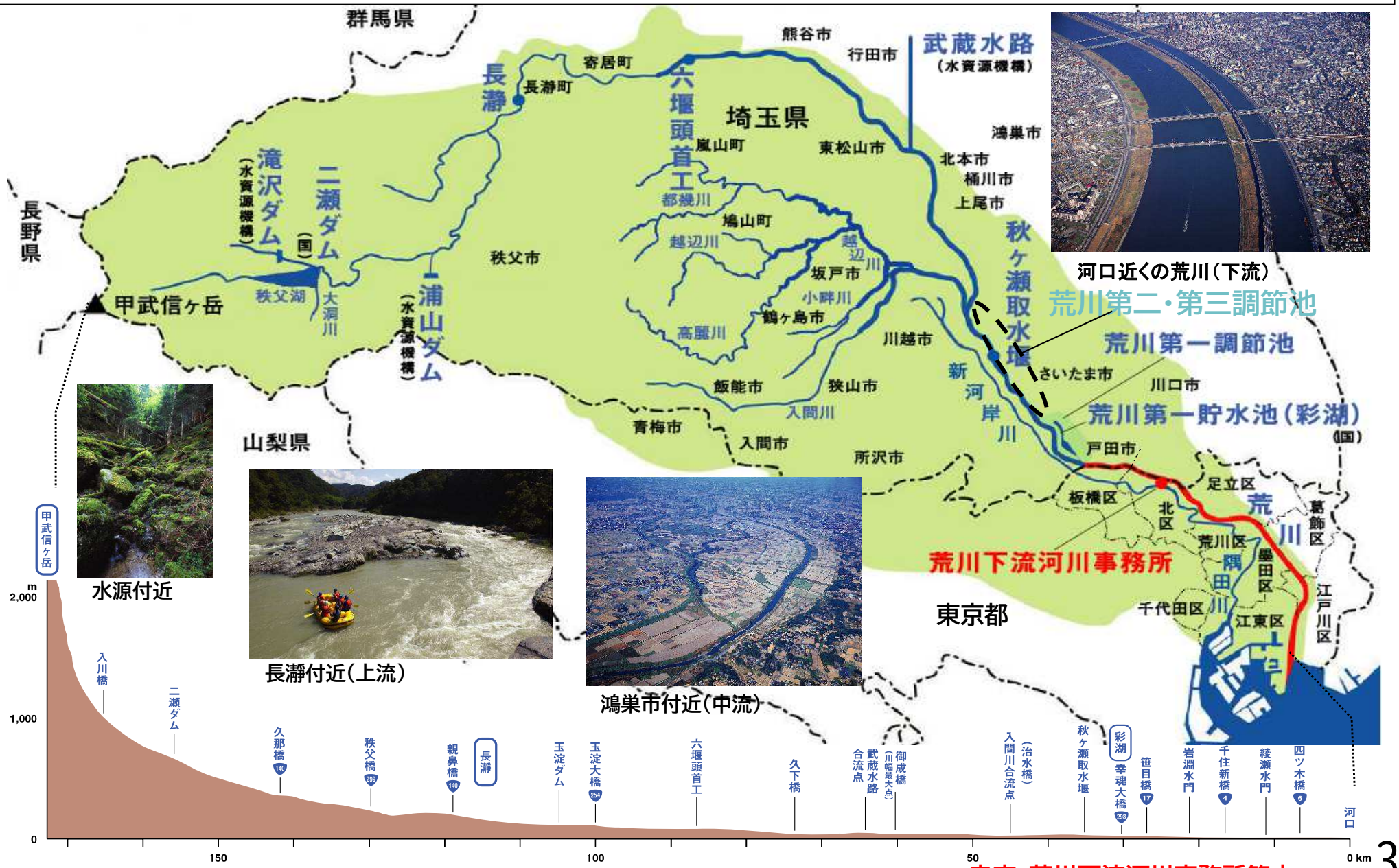
幹線流路延長 約173km

流域人口 約1020万人

荒川の概要

荒川下流河川事務所
Arakawa-Karyu River Office

荒川源流である、標高2,475mの甲武信岳から一気に山地を流れ下り、埼玉平野を潤し、首都圏の低地を貫流



河口近くの荒川（下流）

水源付近

長瀞付近（上流）

鴻巣市付近（中流）

赤字：荒川下流河川事務所管内

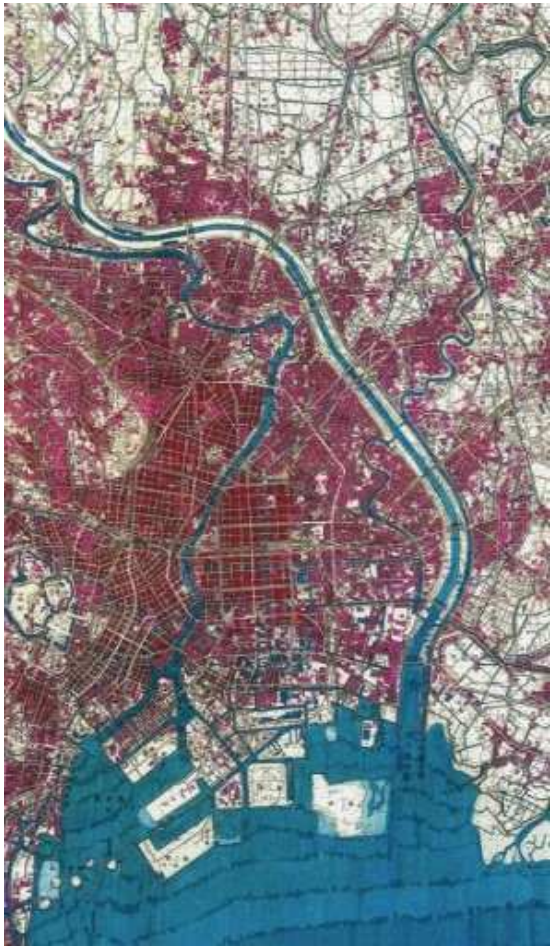
高度経済成長における急激な都市化

○荒川放水路の建設により、都市化が一層進展し、人口も急速に増加
○放水路整備前の1909年には約270万人だった東京の人口が、1996年には約1,280万人に増加

明治42年

約270万人

昭和29年



約780万人

平成8年

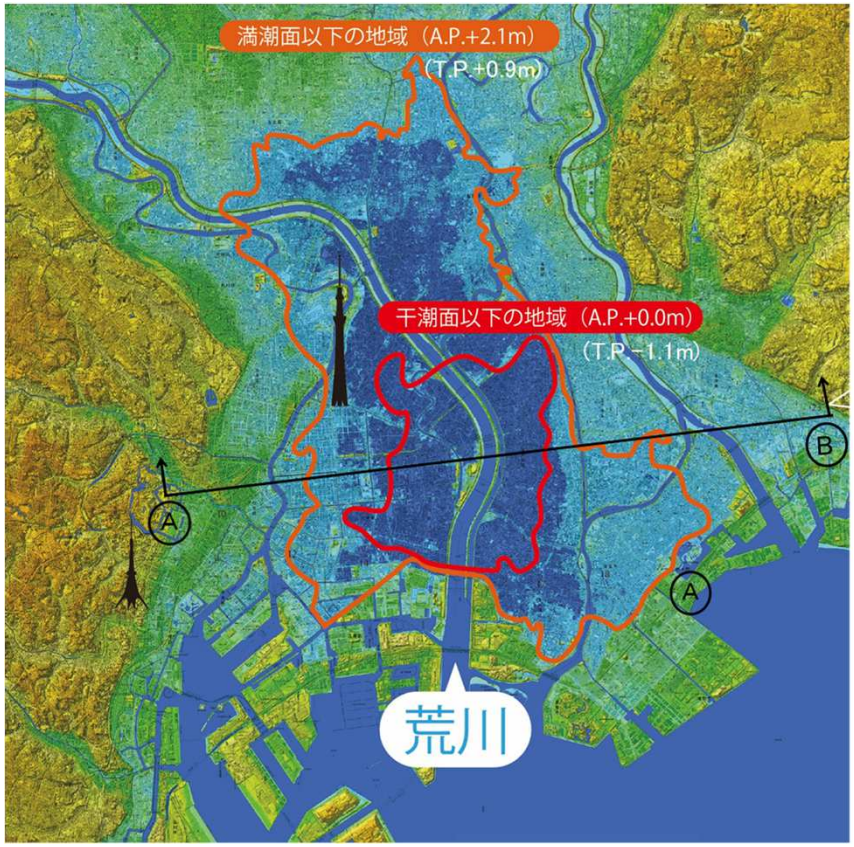
約1,280万人

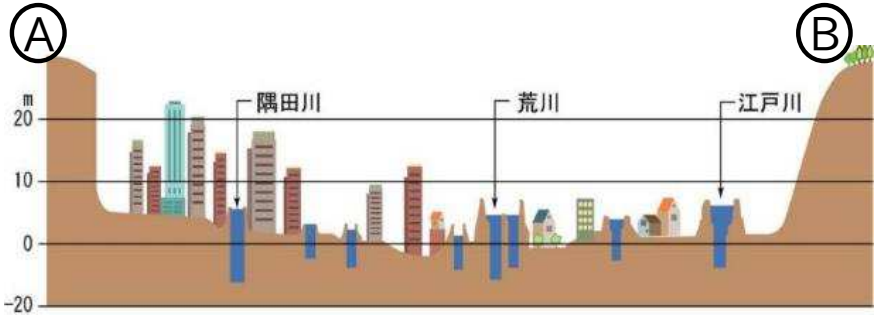
※東京都総務局HP東京都の統計

ゼロメートル地帯が広がる荒川下流部

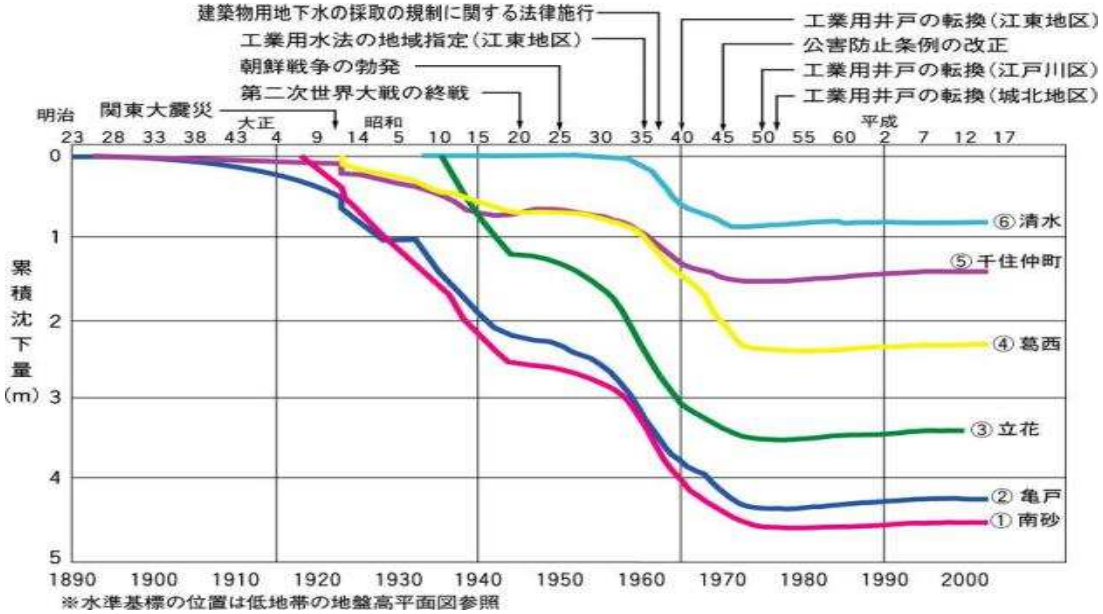
○荒川下流部は、地下水のくみ上げ等が原因で明治末期から地盤が沈下。東京湾の満潮位以下の土地であるゼロメートル地帯が広く存在。
○最も沈下した地域では沈下量累計4.5mを記録。現在は地下水の採取の規制により収束。

低地帯の地盤高平面図





地盤沈下の状況＜主要水準基標の累計変動量＞



荒川下流部の堤防高